

## ■効果の見える治水事業

### 徳島県 坂野海岸 海岸侵食対策事業

さかの かいがん

徳島県 県土整備部 東部県土整備局 局長  
いしもと のぼる  
石本 昇



○事業概要 坂野海岸は、徳島県の東端の紀伊水道に面した小松島市に位置しており、南に繋がる今津海岸とあわせて、南北に延びる延長約6.6kmの海岸線です。当海岸は一級河川那賀川の河口の北側にあって、那賀川から供給される土砂が堆積し形成された海岸ですが、漂砂のバランスが崩れ海岸侵食が進行し、激浪時には波しぶきが飛散し背後地の生活に脅威を与えています。文献等によれば、明治初期（約150年前）の推定海岸線は、現在の海岸線より約150m先の海上にあったと言われており、海岸侵食の激しさを伺えます。

当海岸及び沿岸域は主に漁業に、背後地は農地及び宅地として利用され、魚介類及び農作物の供給地となっています。このような海岸利用形態の維持を図るため、昭和36年から海浜の安定を図る目的で海岸堤防、離岸堤、突堤および養浜等を計画し、今年度は、3基目の大型突堤を完成するべく事業を進めているところです。

今後は、ウォータフロントの思想や海浜空間の形成および効率的な面的防護などの考え方も取り入れながら、かつてのなぎさを取り戻すと共に、一刻も早くみなさま方に安全・安心が得られる海岸づくりを目指して事業に取り組んでいきたいと考えています。

- 施行箇所 小松島市和田島町
- 施行期間 昭和36年度～
- 施行内容 施工延長 L=3,320m  
突堤 N=14基



大型突堤 横堤上部工施工中 平成24年10月現在



## 『安全・安心・信頼のまちづくり』を目指して

小松島市長 いなだ よねあき  
稲田 米昭



小松島市は、徳島県の東部に位置し、面積45.30km<sup>2</sup>、市北部は県都徳島市と接し、海を隔てた近畿圏との海陸交通の要衝として栄えた港湾都市であります。近年は、本州四国連絡橋の開通による交通手段の多様化によりフェリー航路は廃止されたものの、赤石地区には大型公共埠頭やコンテナターミナルの整備が進み、物流の拠点として今後の役割が期待されています。

徳島県により実施されている坂野海岸侵食対策事業の背後地の平野部は、那賀川の沖積により形成された肥沃な土壌であることから農業地帯となっており、また、目前にある紀伊水道を漁場とし、高級食材として知られる「ハモ」や「和田島チリメン」などの水産加工も盛んに行われています。

このように、坂野海岸の背後は農業のみならず水産業も盛んに行われ、本市にとって一次産業の中心地ですが、過去には海岸侵食による海岸線の後退が進み、台風時には、海岸堤防が崩壊するなど大きな被害を受けてきました。しかし近年では、大型突堤や離岸堤などが整備されてきていることから、その被害も徐々に少なくなってきました。

また一方、内陸地域においては、地盤高が低い地域が多く、これまでに度重なる浸水被害を受けております。このため、本市は、まちづくりの柱である総合計画に「安全・安心・信頼のこまつしま」というテーマを掲げ、緊急かつ効率的に災害の防止と浸水被害の最小化を図るため、これまでに3箇所の雨水ポンプ場を整備し、現在は金磯地区において金磯南雨水ポンプ場の整備等のハード対策と、地域の防災体制の構築などのソフト対策を組み合わせた「金磯地区下水道総合浸水対策緊急事業」に取り組んでおります。

今後とも、市民の皆様の尊い生命と貴重な財産を守るため、雨水ポンプ場や雨水幹線などの整備を推進するとともに、県と連携した護岸工事などの河川整備や海岸堤防、突堤などの海岸保全施設の整備等の総合的な治水対策、地域と連携した自主防災組織への支援など、行政と地域が一体となって災害に強い都市づくりを進めてまいります。



徳島小松島港コンテナターミナル(赤石地区)  
四国最大級のガントリークレーン



金磯南雨水ポンプ場建設工事の状況



小松島市の観光PRマスコットキャラクター  
金長たぬき「こまボン」



金磯南雨水ポンプ場完成予想図  
平成25年度末の完成予定